



給食会だより

第123号

〔公財〕川崎市学校給食会



〒210-0004 川崎区宮本町6番地（明治安田生命ビル4F）

TEL 200-3298,3300 FAX 222-1442

平成28年度 食育推進コンテスト表彰式・講演会 (主催 川崎市PTA連絡協議会)

平成29年1月15日（日）午後、川崎市高津市民館大会議室において、平成28年度食育推進コンテスト表彰式・講演会が開催されました。主催者の川崎市PTA連絡協議会会長 齊藤植栄氏のあいさつの後、川崎市教育委員会賞（4名）、川崎市スポーツ協会会長賞（5組8名）、川崎市学校給食会理事長賞（5名）、JAセレサ川崎セレサモス賞（5名）、味の素賞（2名）、川崎市PTA連絡協議会会長賞（6名）の児童生徒、保護者のみなさんが表彰を受けました。都合により欠席された受賞者も見受けられましたが、合計27組30名の所属、名前と「お弁当テーマ」が発表されました。来賓の皆様は、平成29年度から川崎市でも本格実施される中学校給食にふれられ、安全で安心な食物が供給し、中学生にも給食を楽しんでもらいたい、また、お弁当は愛情が表現されたものであり、お弁当作りを通して相手を思いやる心を培ってほしい



との話がありました。中学生の応募が全体では681点にも上り、そのこともあり会場には中学生受賞者の姿が多かったようです。応募総数は昨年度よりも、63点も多い、813点でした。

川崎市学校給食会理事長賞は小学生1名、中学生3名、高校生・一般1名でした。お弁当テーマはそれぞれ

「アレルギーであまりたべられない妹へのおべんとう」(小2)

「夏に負けるな!! 弁当」(中2)

「まごは(わ) やさしい弁当」(中2)

ま…豆 ご…胡麻 わ…ワカメ や…野菜 さ…魚 し…椎茸 い…芋



「食欲増進栄養弁当♡」(中2)

「☆笑顔で元気になるお弁当☆」(高校・一般)

でした。弁当を作った子どもたちの気持ちがテーマの文言にもよく表現されていると感じました。受賞者には山田理事長より賞状と副賞が渡されました。

表彰式終了後、講演会が行われました。独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 院長 樋口進（ひぐちすすむ）氏が、「子供の生活習慣を考える～インターネット依存って何だろう?～」という演題でお話をされました。主な内容は、以下のようなものでした。

- ヨーロッパ諸国に比べ、日本・中国・韓国といった、東アジアのネット依存病率が高い。
- 男性はオンラインゲームに、女性はSNSにはまっているケースが多い。
- ゲーム刺激に対する脳の反応はギャンブル刺激に対する脳の反応に似ている。ネット依存はギャンブルやたばこ等のように身近にあり簡単に手にできるものなので、離脱は、極めて難しい。
- ネット依存は、短い睡眠時間や昼夜逆転の状態になり、睡眠障害を引き起こす。やがて、遅刻欠席が増え、成績も低下し、引きこもりとなる場合も少なくない。引きこもりとなると、一層ネットに依存するようになる。
- 暴言を吐いたり、暴力を振るったりする場合も多く、心的な障害を引き起こすケースも多数の報告がある。
- 保護者も疲弊し落胆し将来に強い不安を抱くので、保護者と子供とで第三者が関わった治療が効果的。しかし、日本ではネット依存を治療している医療機関が少ない。
- ネットに関わらない時間帯を設定することが、改善の第一歩。子供（当事者）を含めて話し合い、ルールを決めることが大切。ルールが守れたら、褒めてあげることが重要。そして次のステップに進む。辛抱強く。



〈 樋口 進 氏 〉